

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月5日

【評価実施概要】

事業所番号	3670400294
法人名	医療法人 是松医院
事業所名	グループホーム青葉園
所在地	徳島県阿南市見能林町青木75番地3 (電話) 0884-24-6858

評価機関名	徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成 21年 2月 3日

【情報提供票より】(平成21年1月9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 10 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	13.0 人

(2) 建物概要

建物構造	木造スレート葺き造り	
	2 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000~13,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費: 10,000円、その他: 実費
敷金	有() 円	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	400 円	おやつ 50 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要(平成21年1月9日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	9 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80 歳	最低	66 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 是松医院、医療法人 中野歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は緑豊かな田園地帯が広がる住宅街に位置し、民家風の造りで周囲の景観に溶け込んでいる。管理者をはじめとして全職員の意思疎通が日常的に図られ、利用者は明るくゆったりとした雰囲気の中で落ち着いた生活を送っている。ユニットごとに利用者の力に応じた役割分担が行われ、それぞれ固有の雰囲気が感じられる。事業所は地域との協力体制の充実やボランティア活動への一層の取り組みに向けて、運営推進会議や同業者との交流、連携に努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員間での情報の共有については、運営推進会議の記録や研修報告書等への確認印・サインがあり、改善されている。鍵をかけないケアの実践については、改善されるまでには至っていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、管理者を中心として全職員で取り組んでいる。前回評価での課題の改善とともに地域密着型サービスとしての事業所の役割について、全職員で理解を深めていこうとする姿勢がみられる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2か月に1回開催し家族や地域住民、地域包括支援センター職員が参加している。会議では事業所の活動内容の説明や報告を行い、それに対して参加者間で意見交換を行っている。また他事業所の職員と合同行事を企画するなど地域資源を活用したサービスの質の向上に取り組んでいる。会議録は全職員に回覧し、確認印・サインを行っている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の意見等は2か月に1回発行する「青葉園便り」や面会・電話連絡の機会をとらえて聞いている。要望等が出された場合には職員間で話し合いを行い、運営に反映させている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩や外出時には地域の人と日常的な関わりをもっている。自治会に加入し、地区の文化祭や神社の草刈りなど、機会あるごとに積極的に参加している。また利用者は、地元小学校の学校安全ボランティアとしてスクールガードパトロールに登録し、子どもたちとの馴染みの関係づくりに努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域と家庭的な馴染みの環境のもとで、安心した暮らしの継続を目的とした理念をつくっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は事務室に掲示するとともに申し送り時に唱和し、利用者本位の支援の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩や外出時には地域の人と日常的な関わりをもっている。自治会に加入し、地区の文化祭や神社の草刈りなど、機会あるごとに積極的に参加している。また利用者は、地元小学校の学校安全ボランティアとしてスクールガードパトロールに登録し、子どもたちとの馴染みの関係づくりに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が評価の意義を全職員に説明し、自己評価は分担して行っている。また評価項目を活かして地域との協力体制の充実やボランティア活動への一層の取り組みを行っている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回開催し家族や地域住民、地域包括支援センター職員が参加している。会議では事業所の活動内容についての説明や報告を行い、それに対して参加者間で意見交換を行っている。また他事業所の職員も随時参加し、合同行事を企画するなど地域資源を活用したサービスの質の向上に取り組んでいる。会議録は全職員に回覧し、確認印・サインを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月次報告時や市が主催するノロウィルス対応の研修に参加した際などに意見交換し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等への報告は来訪した際や電話連絡時に、利用者の健康状態や暮らしぶりを伝えるとともに、2か月に1回発行する「青葉園便り」に写真や担当職員のコメントを添えて送付している。金銭管理報告は、家族等の来訪時に確認印・サインをもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見等は2か月に1回発行する「青葉園便り」や面会・電話連絡の機会をとらえて聞いている。要望等が出された場合には職員間で話し合い、運営に反映させている。しかし、意見・要望等の記録は残されていない。	○	意見や要望は、解決に向けた経緯、対応結果等の過程などの内容を記録して整理し、運営に反映させることが望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動等は最小限にとどめ、利用者との馴染みの関係を深めるためにユニット間での職員の行き来を日常的に行っている。やむを得ない離職等の場合は、ユニット間で職員の配置を調整して急激な変化を避け、利用者の混乱を防ぐよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画を作成し、研修が受講できるよう配慮している。また随時の研修案内も職員に伝えて希望を聞き、参加を支援するなど質の向上に取り組んでいる。研修内容は報告書を作成して回覧し、確認印・サインを残して職員間で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交換研修や相互の運営推進会議への参加、合同行事の開催などの交流を行い、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や体験入居を実施し、利用者が徐々に馴染みながら安心してサービスを利用できるよう取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意なことや好きなことを把握し、配膳やテーブル拭きを手伝ってもらったり、季節行事の習わしを教えてもらうなどにも過ごし支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者や家族から生活歴や意向、生活上の希望等を聞き取り、サービス内容に取り入れている。併せて利用者一人ひとりの思いや意向を記録し、職員間で共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の希望、要望を聞き、神社の清掃活動への参加なども取り入れた介護計画が作成されている。またカンファレンスを行ってチームの意見やアイデアも取り入れて検討している。介護計画書は本人・家族に説明して同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	食事・排泄・入浴・口腔清潔・基本動作介助・医療健康・心理面等について、毎月「判定シート」を用いて利用者の状態を把握し、カンファレンスを開催して定期的に介護計画を見直している。入退院時など利用者の状況に変化がある場合には随時見直し、新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関との医療連携体制の整備、外泊や緊急時の通院など、利用者や家族の状況に応じた柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と協力してかかりつけ医への受診を支援している。また本人や家族からの同意を得て協力医療機関である内科医による週1回の訪問診療があるなど、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化対応指針」を整え、入居時に利用者や家族等に説明して方針を共有している。また、協力医療機関と連携して看取りを行う体制も整えている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	運営規程や利用契約書、重要事項説明書に秘密保持を明記し、個人情報やプライバシー保護の徹底に努めている。また職員の言葉遣いや日誌の表現も丁寧であった。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の過ごし方は本人の希望にそって支援している。レクリエーションへの参加などは、本人の意思を尊重している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや配膳、下膳など利用者一人ひとりの力量に応じた役割があり、お互いに声をかけ助け合いながら行っている。誕生日には本人が希望するメニューを用意したり、ケーキを利用者と一緒に作るなど、会話が弾み楽しい食事を支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴ができるようになっている。利用者の体調や希望に応じてシャワー浴や足浴も取り入れて負担感を減らすとともに、清潔保持のための工夫も行っている。入浴を好まない利用者にはタイミングを変えるなどの対応もしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の得意なことやできる事を把握し、調理や掃除など日常の様々な場面でさりげない言葉かけによる役割の支援を行っている。また利用者が地元小学校のスクールガードパトロールのボランティアとして活動する機会を持つなど、地域貢献も行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎朝の散歩は1年を通して日課となっており、車椅子の方も参加している。また外食や季節の催しへの外出等の支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	定期的に鍵を開ける時間帯を設けているが、できる限り見守りを行うことにより開ける時間帯を増やしている。	○	事業所の立地条件や利用者の状態等を考慮しつつ、鍵をかけないケアの実践に取り組まれない。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時マニュアルを作成し、消防署の立ち会いのもと日中を想定した避難訓練や消火訓練を実施している。しかし、訓練は年1回のみの実施となっている。	○	災害対策は利用者の安全を確保する上でより優先されるべきことであり、夜間等の少人数でも災害に対応できる訓練を重ねて実施することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は毎回記録している。またこまめに水分補給の機会を設けるなどの配慮も行っている。献立は外部の管理栄養士による栄養バランスへのアドバイスを受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前の庭園や中庭には草木が植えられ季節感があり、外気浴も楽しめるゆったりとした空間となっている。廊下を隔てた食堂と和室には段差がなく広々と落ち着いた雰囲気があり、昼食後には利用者が集まってコタツやソファでゆったりとくつろいでいる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は和室と洋室の2種類があり、使い慣れた家具や寝具などが持ち込まれ、一人ひとりの生活スタイルに合わせた居心地のよい住まいとなっている。		